





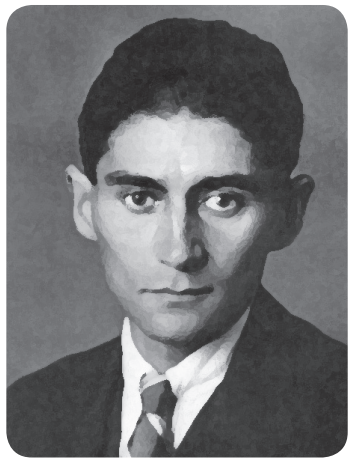
連載 小説

河内のカフカ

嶋津 亮太

(八尾市在住の小説家)

高安駅から少し歩いたところ、そのカフカはあった。翔平はカウンター席に座り、白いベルギービール飲みながら、読みかけたたカフカの「変身」を読んでいた。言葉と筆に整理されたよう、淀みなく翔平の身体の中へ入ってきた。屋下りの日光がガラスに並ぶ鉢花に反射してちらちらと光っている。「変身」の中の主人公レゴールは、父親に林檎を投げつけられた。虫の体になったレゴールの背中にその禁断の果実はめり込んで。その傷が致命傷となり、次第に衰弱していくレゴール。自分が人間でなかったという記憶さえ曖昧になっていく。ついにレゴールは息絶える。使用人の娘がレゴールの死骸を始末する。そして残された家族は、新たな未来へと進みはじめたのだ。翔平は読み終えたばかりの本を閉じた。レゴールは死んだ。それも自分が生活の面倒をみていた父親の暴力がきっかけとなって。その瞬間の間に、様々な考えが翔平の頭の中を駆け巡った。何よりも強々残ったのはレゴールの記憶が薄れていったことだった。巨大な虫の姿に変身して以降、食べ物に興味嗜好が変化した、なんて人間の記憶は留めることができていた。それが体の衰弱に伴い、記憶さえも不確かなものへと変化していく。そのことに恐怖を覚えた。



翔平の脳裏に最初に浮かんだのは、今朝踊りを忘れていたことだった。昔からあれだけ踊ってきた河内音頭を、全く思い出せないということが信じられなかった。翔平は手に取った瓶をゆっくりと口へ近づけた。空っぽの胃の中へ泡立つ麦の液体は流れ込んでいった。翔平はもう一度ビールを注文した。「お客様、ホワイトビールがお好みですか？」

男の店員は翔平にそう言った。今飲んでいながらも好きだから注文したのでなく、単純に一度も飲んだことのない種類だったという理由に過ぎない。印象としては飲みやすいというだけで、それ以上でもそれ以下でもない。「ホワイトビールがお好きでしたら、只今八尾名物の枝豆を使用した枝豆ビールという商品がおすすですが」翔平の答えを聞く前に、店員はそう言った。そしてホワイトビールの原料が小麦であること、ホップを入れる前に粉末の枝豆を入れて味を調整することなど、細かい説明をはじめた。翔平にはよく分からなかった。真剣に聞いていたとしても、内容を理解することはできなかった。商品の説明は、店員の自己の尊敬を満たすだけの役割でしかなかった。「じゃあ、それを買いたい」一通りの説明を受けた後、翔平は店員にそう言った。店員は満足気であった。最後まで読み切ったことで、ある種の達成感を抱いた翔平は突然の空腹に見舞われた。カウンターには積み立てたパシルの葉が皿に無造作に盛られていた。翔平は店員にジュベージュを注文した。その時、自分が孤独のグルメの主人公であるかのような気がした。昼間からカフェで男

次号(11月15日付)に続く

河内のカフカ

ここからの大伴の話は難しくなる。成平にはその半分も頭に入っていない。証拠はないが、私は黒主がこの事件にからんで失脚したのではないかと。嵯峨天皇、空海と共に三筆と呼ばれた橘逸勢は、これも757年にクーデターを起こそうとした橘奈良麻呂の孫なんだ。猿丸大夫の名で詠まれた黒主の歌の紅葉とは、この逸勢や奈良麻呂のことなんだよ。当時の人ならそれが分かった。間違いない。万葉集には橘奈良麻呂の歌がある。猿丸大夫、つまり大伴黒主はこの歌から採ったんだよ。手折らずに散りなば惜しむわが思ひし秋のみみちをかさしづるかも(万葉集1581) 橘奈良麻呂はそのクーデター計画のためおそらく殺されているだろうなあ。さっきの話の続きやが、百人一首にある4つの植物の正体は、紅葉は橘奈良麻呂で、後には橘逸勢だ。梅は長屋王だが元は吉備真備などの怨霊だった。実は真備が柿本人麻呂の中心人物なんだ。そして桜は早良親王と平城天皇。白菊はおそらく菅原道真だ。すべて怨霊だとされている人たちだろう。京都の御霊神社には、吉備真備、早良親王、橘逸勢は祀られている。

東大阪の古代史研究家 十帖田の古代史塾 百人一首殺人事件 ①

いつになく雄弁な大伴の話に成平は圧倒されてしまった。黒主の霊が乗り移ったようだ。大伴のことが黒主の子孫かもしれないと思えるくらいだ。黒主が詠んだ承和の変を密告したのが、謀反の相談をされた阿保親王だというのが、この後親王も数カ月で亡くなっているのだ。「黒主が承和の変、つまり橘逸勢の事件に関係していたという証拠はないんですけど」 「何も無い。しかし聞くけど、なぜ六歌仙の彼が百人一首に実名で登場しなかったんだ。この時代の大事業といえはこれしかないだろう」 何となく信じてしまいたいそうになりながら成平は大伴に次の疑問を話した。「六歌仙そのものがすごく謎ですよ。六歌仙とは、僧正遍昭、在原業平、文屋康秀、手治山の僧喜撰、小野小町、大伴黒主でした」 ここで山崎をキーとした男が帰って行った。時間で割れた随分高い山崎だ。「今日はどうもありがとうございました」 この客を丁寧に送ってママがカウンターに戻ってきた。大伴のグラスに目をやり水を入れた。六歌仙の話も聞いていたらしい。

浪速最後の演歌師



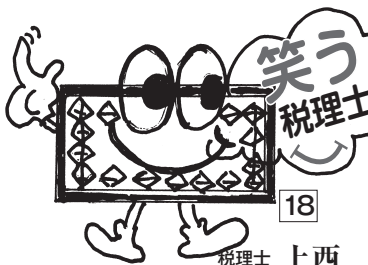
田浦高志さん

場、毎週6人抜きで連続7週間勝ち抜き、見事チャンピオンとなった。中学校卒業を目前にして悲しい出来事があった。母が病を得て旅立ったのだ。とにかく生きていかねばならない、一念発起してギターの流し。マや映画にも出演の機会を得、ラジオ大阪「パンザイ歌謡曲」のパーソナリティーも経験した時代は流れ阿倍野・天王寺界隈も再開発が進み、流して歩く場所が減少しているのが残念だ。流し人生も40年を超え、現在は西成に住み

ちびっ子浪曲師が人生のスタート

田浦高志さん(写真)は昭和35年7月生まれの57歳、大分県速見郡の出身だ。浪曲師の父と曲師の母のもとに生まれ、3歳の頃よりちびっ子浪曲師として九州を中心にドサ回りをした。7歳の時、河内音頭を習いやぐらに上げてもらった覚えがある。とにかく歌が好きで、人に負けない自信があった。

来年、平成30年分の所得税(住民税は翌年)から配偶者控除と配偶者特別控除が改正になります。これは事業者に限らず影響が出ますから、皆さん気になさることを。



配偶者特別控除の改正

今までは103万円を超えても配偶者特別控除というものがあって、141万円までなら38万円がだんだん減っていくという形で、主人の所得税を減らすのでラッキーです。また配偶者控除も改正があり、給料の年収が120万円を超えて1200万円以下の方は、反対に38万円が減っていきますので増税です。これは配偶者控除の話、先程は配偶者特別控除の話、ややこしいですね。だから奥さんは150万円まで働いてくれたと考えると危険なんです。奥さんが、主人の社会保険の扶養家族になっている場合は、130万円を超えると奥さん自身が社会保険に加入するケースがでてきますので、益々ややこしいですね。税と社会保険は一体考えて、シンプルな方が良い気がします。

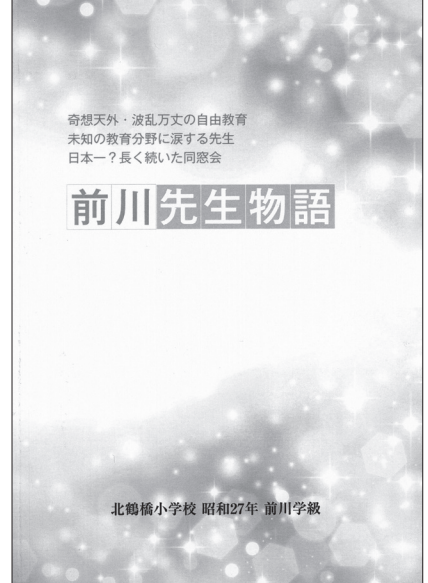
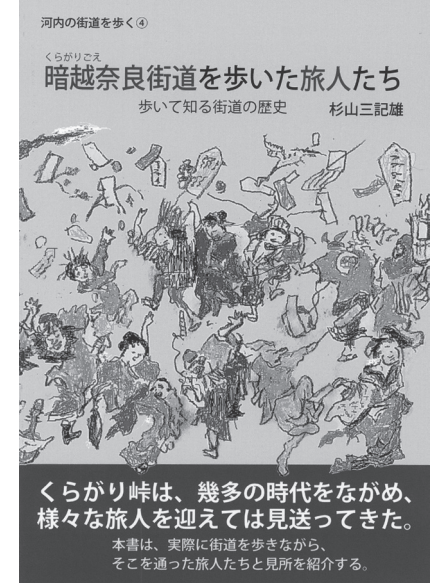


新世界を中心に流している。大阪市内数カ所にかつおか教室を開講、風雪に耐えた伸び、張りのある歌声で生徒を楽しく指導している。「演歌師」の由来は明治の頃、学生が小遣い稼ぎに世相を皮肉った仮仮をときを、演説しながら売ったことが始まりといわれる。演説だけでは調子が出ないので、羽織袴姿にバイオリンを弾いて下手なメロディを伴奏代わりにしていた。「演歌」は演説の歌がルーツであり、現代のいわゆる演歌とは似て非なるものだ。流しの天敵はヤクザなどではない。野球、ボクシングがあるとき、商店街が休みのとき、雨が降るときはザッパリお客がいなくなる。田浦さんはラジオ大阪「北で逢った女」追憶ちゃんど物語を発売している、ユーチューブで配信中国だ。

浪速最後の演歌師、田浦高志さんをこれからも応援したい。(小川秀人)

読者の本

本紙の読者から本が2冊届きましたので、紹介します。1冊目は河内の郷土文化サークルセンター相談役、杉山三記雄さんが読書館(生駒市)から出版した「暗越奈良街道を歩いた旅人たち」です。暗越奈良街道は難波の港から河内平野を通り、暗峠を越え、竜田川を経て榎木峠を越え、富雄川を渡り奈良・三城町に至る約30キロメートルの街道だった。副題は「奇想天外・波乱万丈の自由教育 未知の教育分野に涙する先生 日本一?長く続いた同窓会」。A5判42頁並製本、定価960円(税込み)。問い合わせは今井武男さん(☎090-8657-9733)へ。



「暗越奈良街道を歩いた旅人たち」

「前川先生物語」

ドクター、寄り道 世界一周 ①6

1ドル360円時代 久志本 東

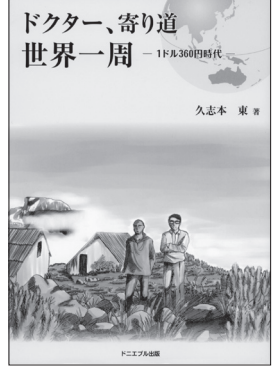
その夜、最後の醫院は続きます。ホテルのレストランでフルコースを頼み、翌日は観光タクシーでカンパを見てまわりました。カンパは木々に囲まれ、のんびりとした美しい田舎の街で、丘が多く、環境のいいところでした。しかしアミンの独裁と内戦で混乱を極めてくらは、その美しい街並みもどうなってしまうのか心配です。

アフリカ編 ブガンダ王墓 荘重で威厳



イラスト 久志本雅子

スで迎えに来てくれました。彼の家には大きな門があり、日本では考えられないような立派な邸宅でした。食堂の真ん中には広くて大きなテーブルがあって、主人夫婦と娘、主人の母親と思われる老婦



ドクター、寄り道 世界一周

大学を卒業しインターン、そして一般外科研修の後ザンビア共和国の診療所へ赴任。1ドル360円の超円安の中、持ち出し限度額の2万円を持って日本を飛び立つ。その後、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカを放浪して大阪万博に沸く日本に帰国。70歳を記念して寄った先々でのエピソードを綴り、上梓。イラストは久志本雅子。A5判188頁並製本、定価1620円(税込み) ドクターがつまみ食いしたユーラシアの古代史② ドクターがつまみ食いしたユーラシアの古代史③ 各A5判並製本、定価1620円(税込み) (引き続き⑥発行予定)









**八尾柏原支社**  
八尾市山本町南6-2-29  
TEL 072-926-5134  
FAX 072-921-6893



## 展示物を熱心に見る「学ぼう会」のメンバー

「続日本紀」の由義寺と道鏡

今年2月、東宮削遺跡（八尾市東宮削3）において、「幻の都」とされた由義寺の塔の基壇が発掘され注目を集めた。八尾市文化財調査研究会の現地説明会資料によると、日本の正史である『続日本紀』の770年のところに記されている「称徳天皇と道鏡が建立した由義寺の場所が明らかになり、称徳天皇がこの地に置いたとされる幻の都「由義宮」を考えるうえで重要な発見だという。

年の行幸の際、道鏡の治療を受けたことから道鏡を重んじるようになり、道鏡は766年法王となった。770年、道鏡は下野薬師寺(栃木県下野市)の別当となり772年亡くなった。

今東光の生き様の投影!?

今東光資料館は常設展示に加え春と秋に特別企画展を開催している。今回のテー

秋山光子さん（67）は東京杉並区出身。緑あつて大阪に暮らすことになった。幼少の頃から歌が大好きで、吉本興業に歌手として入社。バラード曲や和製ポップスを中心に、なんば花月や京都花月の舞台に出演した。吉本興業への同期入社にザ・ぼんちで一世を風靡した里見まことさんがいる。ザ・ぼんちのおさむさん、阪神巨々B&B、島田紳助さん他の愉快な仲間たちと楽しん仕事をしていった。吉本在籍は3年ほどであり、その後は不定期でライブ活動を

続けている。お好み焼「えん」（八尾市陽光園2・3F）をオーナーにしたのは、今を去る2011年6月。お店のネーミング「えん」は、生ま

認定証

明日の  
有名

認定証



もんじゃ・お好み焼 えん

れてこのか  
たの親兄弟  
の縁、吉本  
興業で結ん  
だ様々な  
縁、歌手活  
動を通して  
の縁、など  
なご心に刻  
んだ「ご  
縁に感謝  
して」命名  
した。

「もんじ  
ゃ」は東京の月島あた  
りの漁師町の子ともた  
ちのおやつがルーツ。か  
けのないメニューだ。東  
京ではあまり美味し

同じ粉もグループだが、大阪ではあまり見



オーナー  
秋山光子さん

**東京仕込みのもんじや評判高い**

いお好み焼、たこ焼うだ。お店の立地はＪンクを揃えている。もきに合うことがな R八尾駅北口より３分 んじゃを食べへ、一杯呑 Aが多分もんのD の絶好のロケッショ んでのお勘定は、1500円前後のリーズナブルな価格が嬉しい。

近は大阪でも「もん企業やファミリーが主」をちらほら見かだ。

店内は落ち着いた雰囲気  
ー専門のランチを始め

評判が高い。  
カ・エビ・もちチーズ  
お店の看板娘  
明太子・ツナコーン・ほ  
秋山シニア  
とときず（梅と大葉）  
さんが調理提  
等を共通の食材にした  
供するもんじ「もんじや・お好み焼  
ゃを、来店客  
であり、ドリンク類は  
の7割方だけがオ  
生ビール・耐ハイ・日本  
ダーです。そ  
酒ウィーンソフトドリ



秋山シニアさん（左）が里見まさとさんに花束贈呈（喜樂亭）

・コヒー付き、価格  
は800円から。  
先陣9月3日「えん」  
のすぐそばに、本  
格寄席「喜楽亭」がオ  
ープンした。名寄席亭  
が旧知の里見まさとし  
んと聞いて、秋山さん  
母娘がお祝いに駆け  
つけた。これから、こ  
れは寄席も盛況と  
なり、「えん」に立ち  
寄りの客も増えること  
だろう。

「えん」は営業時間  
17時半～22時、日曜  
のみ休業。

（小山秀人）

## 読者(近藤友二さん)が85歳で断食マラソンに挑戦する

# 新食マラソンに挑戦しています

昭和60年に「1億3千万人の笑顔運動」を興して以来32年、皆様にご支援頂き、今もこうして元気に活動させて頂いております近藤でございます。

15年後の2032年に「1億0万人の笑顔コール」という全国イベントを開催いたしますが、まずは、健康増進が主なる気功新食グループに参加し、12月のホルマルマラソンで、6日間新食して42.195kmを完走することにしたしました。



ススポー経験の全くない、85歳の私も  
「やればできる、ということも証明したい  
そして、ネガティブな常識にこだわらず  
やればできる」という意識を  
日本中に伝えたいと思っています

皆様にお願いがございます。

友人の伊戸池さんがクラウドファンด์に取り組みしてくれ、下記のサイトを立ち上げてくれました。ご検索頂きご支援願いたく、ゆくりお願ひ申し上げます。

気功新食マラソンは人間の可能性を確するものです。明るく元気になって参りますので、何卒、応援よろしくお願ひ申し上げます。

近藤 大 洋

## 新食マラソンに挑戦する近藤友二を応援する

昭和 60 年 月 日

(1) お名前：

(2) 郵便番号：

(3) ご住所：

(4) 生年月日：

(5) 携帯電話：

(6) ご支援頂く金額 (必ずをお願いいたします)

☐ 3,000円
 ☐ 5,000円
 ☐ 10,000円

ご記入頂きましたらFAXまたはご郵送頂き、ご支援金を下記口座までご送金くださいませようお願ひ申し上げます。

☆FAX 0798-55-2557

☆郵送先 663-8103 兵庫県西宮市熊野町 1-2-302、近藤友二  
 ☆近所先 三井住友銀行、川西支店、普通、3874449、近藤友二  
 お手続りましたら、クラウドファンด์実行会「CAMPFIRE社」発行の領収書をお届けさせていただきます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(お問い合わせは、090-9614-7254 近藤までお願いいたします)

明治維新になり、国鉄は鉄道省の管轄で全国の主要都市には明治中頃まで開通させると言う時代でありました。

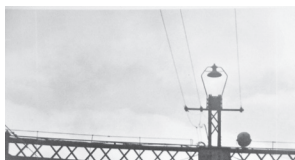
大阪―神戸間が明治7年5月11日に開通し、その後、明治22年7月1日に東京―神戸間が開通しました。

超特急のスタートは、昭和4年10月の富士号が先行して運行していたのですが、遅いのでそれにかわるものとして昭和5年10月につばめ号・さくら号・はと号が誕生しました。

それでも東京―大阪間が約8時間もかかる時代でした。

現在では、約2時間40分で東京に日帰りもできますが、当時は旅行というよりか帰省が多かった時代です。

撮影時期 昭和28年7月  
国鉄大阪駅構内 蒸気機関車（さくら号・はと号）





大阪フィルハーモニー交響楽団  
八尾演奏会  
2017-2018 season  
2nd concert  
指揮 垣内悠希  
独奏 及川浩治 (ピアノ)  
管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団

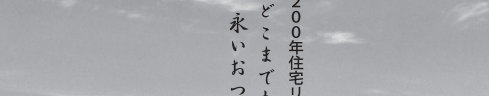
## 大阪フィルハーモニー交響楽団八尾演奏会

今年の協奏曲（コンチェルト）と交響曲（シンフォニー）は2人の作曲家が苦しみぬいて完成させた重厚な名曲曲

■出演  
指揮：垣内悠希  
独奏：及川浩治（ピアノ）  
管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団

■プログラム  
・グリンカ/歌劇【ルスランとリムドムリン】序曲  
・ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番 8短調 作品18  
・ブラームス/交響曲第1番 8短調 作品68  
※プログラムは変更する場合がございます。予めご了承ください。

■入場料  
全席指定 - 概税  
SS席 3,000円 S席 4,500円 前席 3,800円 プリズムA席 4,050円  
プリズムB席 2,700円 プリズムC席 1,700円 プリズムD席 2,000円  
レッシュシット 255 - 1,000円 フリーシュシット 18 - 500円



「000年住宅リフォーム理念」  
どこまでも続く  
永いおつきあいを

サンコーではお客様目線に立ち、品質・施工・価格と無駄のないプランを提案します。

キッチン・トイレ・バス・洗面のリフォームはもちろん、壁の張替えや、外装・屋根葺き替えなど、お客様のあらゆるご相談に応じます。



**サンコー 物産株式会社**

本社 〒550-0015 大阪府大阪市南堀江4丁目33番2号  
E-mail: [info@sanco-kobusen.co.jp](mailto:info@sanco-kobusen.co.jp)  
<http://www.sanco-kobusen.co.jp>



**TEL.06-6533-1271**

東大阪営業所 TEL.072(424)-3000 FAX.072(424)-3001  
池田営業所 TEL.072(424)-3271 FAX.072(424)-3014  
大田営業所 TEL.072(424)-3271 FAX.072(424)-3014  
大阪池田営業所 TEL.072(414)-0004 FAX.072(414)-0007  
大阪池田営業所 TEL.072(414)-0004 FAX.072(414)-0007

**栄養補助食品**  
天然素材100%使用

**グリーンミネラル**

自然の微量元素がいっぱい



粒タイプ 100g  
¥3,240 (税込)

**(有)ライヴグリーン**  
TEL 072-923-5517

第5回世界に羽ばたけ  
「夢」スピーチコンテスト  
支援金額：120万円  
【本道開催日程】平成29年10月15日(日)  
13時30分～17時  
本道開催場所：大阪東大エムエーパークシティ館・春茶  
住所：大阪府大阪市東淀川区御船場4-110  
主催：一般財団法人青少年支援機構  
協賛：株式会社サカイ  
後援：大阪府、東大阪市  
公式サイト：<http://yumeoutentai.com>

【開催趣旨】  
将来の夢や目標を語る。経済的支援を必要とする  
若者が自ら希望する分野で、夢を叶えるために、志  
趣や能力を決定、支援金額を獲得し、奨励します。

【応募資格】  
平成29年4月現在、在学中の16歳以上25歳までの青少年  
(1992年4月1日～2002年4月1日生まれ)

東大阪の企業 株式会社

(出場者一次選定)

作品を基にスピーチコンテスト本選出場者 10 名を選考いたします。

① 2 式 5 枚タイプより「出場申込書」をダウンロードし、必要事項を記入

② 『夢』というテーマで作文を完成していただきます。

※ 実、受賞しなくても文章の俊逸さをお褒めください。

※ 原稿用紙 (400 字詰め) にて 3 枚まで

※ 手書き、パソコン等問わない

③ 応募方法：「出場申込書」と「原稿」を併せてメール又は郵便でお送りください。

※ 「出場申込書」と「原稿」は HP よりダウンロードしてください。

※ メールを送る際の件名は「スピーチコンテスト応募」として送ってください。

④ 送り先：応募の場合 宛先：大阪府東大阪市南土小阪 12-42  
一般財団法人青少年夢応援隊 スピーチコンテスト企画係宛  
メールの場合 info@yumeonline.com

問い合わせ ☎ 06-6725-0511

※ 原稿締切：平成 29 年 8 月 31 日 (木) 必着

社サクレストが応援しています